

な～に谷っ戸ん田 3年目の35回目の記録  
「谷っ戸ん田奥の畑の片づけ、落ち葉かき、大豆の選別、沢庵の調味漬け」

と き 平成 22 年 1 月 16 日 (土) 9 : 30 ~ 16 : 30

ところ 谷っ戸ん田奥の畑、谷っ戸ん田山、作業小屋前のビニールハウス

天 気 快晴気温低い

参加者 石田、磯(午後)、霧生、久保、佐々木一家、柴田(午前)、高田(直)、高橋、高見、藤田(午前)、松本(純)、吉田 合計 14 名 & ハンモックカフェ野地さん テツさんは都筑興業

#### 活 動

【午 前】谷っ戸ん田の広場に集合、グループに分かれての作業

\* 大豆の選別：作業小屋前のビニールハウス(女性チーム：高田(直)、霧生、藤田)

赤松山(かつて赤松が生えていたという)の作業小屋前のハウスで、目の大きさの違うふるいを使って、脱穀済みの大豆(津久井在来種の白大豆)を、

白く大きな大豆；A品と、小粒のB品に分け、虫食いやゴミをとり除いた。殻付きもたくさん残っていて、一人がかかりきりで殻をむいた。

11時にお茶タイム、雑木林広場に集まり、抜けるような青空をみんなで見上げる。台湾帰りの野地さんのジンジャー豆花でエネルギー補給。山に積まれた落葉に腰を下ろすと、思った以上にふわふわで、すっぽりもぐりこむ。蓑虫の気分。

\* \* 12時半まで作業、紙袋に入れたA品は、午前中で30kgくらいになった。

\* 谷っ戸ん田奥の畑の片づけ：10時～10時15分(男性チーム)

・ 唐辛子ピーマン、シシトウ、ナスの枯れ茎と支柱を抜き、ビニールマルチを片づける

\* \* 落ち葉かき：10時15分～11時と休憩をはさんで12時半まで

熊手4本、プロア1台使って落ち葉をかき集め、フレコンバッグ(3袋用意)に詰めて、堆肥場に運び、上から堆肥をかける。

落ち葉に埋もれる者多数発生。午後に足をつる者も。

実績、午前中では、フレコンバッグ33袋

#### 【昼 食】

- ・ 谷っ戸ん田でたんもっくランチ(ネギ玄米ご飯と白菜お鍋)
- ・ 吉田さんより、富士山方面温泉の土産のお菓子をいただいた。
- ・ 日当たりのいい冬の雑木林のハンモックもうれしい。

#### 【午 後】

\* 大豆の選別：メンバー変更(石田、佐々木(奥さんの名前？トシエさん、高田直、高橋)作業小屋前のビニールハウス：13時半～15時。最後は全員で16時半まで)

・ 午前中の継続。

・ ハウスに保管中の3袋は最終的に、A品：30kg リットル桶×2.5=75kg リットル、B品：30kg 桶×0.5=15kg 鳥餌品：少々。0.5桶分は未選別として残っている。

\* 落ち葉かき 13時半～15時頃

・ 実績 霧生さん(5袋)+ 袋

\* 竹林の視察(石田、久保、高見) なかなか手強い相手だが戦ってみたい、と思案する。

\* 沢庵の調味漬け

- ・ 塩漬けしてあった大根を樽から出し、再び詰めるときに、JAの沢庵漬けの元「A - COOP 製の麹漬けの素（たくあん漬け用）」と砂糖などで調味料を作り、振りかけた。優くんが張り切って働いてくれた。後ほどテツさんに尋ねると、塩の量がぜんぜん足りなかった。樽当たり2kg くらいは必要なのに一桁少なかった。次週に塩を足すべし。

【次 回】

- ・ 1月23日（土） 大豆の選別、他調整中